

3学期始業式 講話 ■令和3年1月7日
「今年の初笑い」

新年あけましておめでとうございます。

校長先生の声は届いていますか。

こうやって、また皆さんの元気な顔を見ることができ、校長先生はとても嬉しく思っています。

さて皆さん、冬休みはいかがでしたか。大きな怪我や事故もなく無事過ごせたと思いますが、何か困っていることなどがありましたら、担任の先生に伝えてくださいね。

さていよいよ令和3年2021年がスタートしました。そこで今日は「今年の初笑い」と言うお話をします。

1年の始まりに大笑いすることは「笑う門には福来たる」と江戸時代ごろより言われたことわざにもあるように、とても縁起が良いものとされています。

校長先生の初笑いは、お正月に弟の家のネコこてつ君が校長先生の家に遊びにきたときに起こりました。

1年ぐらい前にも一度遊びにきたことがあって、そのときはまだヨチヨチあるきの子猫だったのですが、お正月に遊びにきたときは、とんでもなく大きなネコになっていました。体重は8キロぐらいあり、ぱっと見はもはやネコには見えないぐらいの大きさです。それだけでも大笑いしたのですが、校長先生たちが晩ご飯を食べているときに、校長先生の家のネコたちといっしょに遊びだして、どこかに行ってしまいました。御飯も食べ終わっ

たので、弟が「こてつ、帰るよ～」と言いながら校長先生の家の中を探し出しました。そんなに大きな家ではないのですが、やはりネコが隠れる場所はたくさんあり、なかなか見つかりませんでした。おかしいなあ、どこにいったのかなあと、校長先生も一緒に探し始めて、「娘の部屋はみた？」ときくと「いや、見ていない。でもこの穴は通れないでしょう」と弟はいうのです。

実は校長先生の家の部屋の扉には、ネコが通れるように下の方に小さな穴を開けているのです。もちろん、校長先生の家のネコたちはみんな通れるのですが、こてつ君には少し難しい大きさです。でも、一応探してみようということなので、娘の部屋の扉をあけると、なんとこてつ君が中にいました！

こてつ君もそのときびっくりしたのか目をまん丸にして、逃げだそうとしました。そして扉の下に小さな穴をくぐろうと飛び込んだのですが、なんとはさまってしまって、途中で身動きがとれなくなりました。

入るときはたぶん無理矢理入ったのか、出るときは出られなくなってしまいました。もぞもぞ何とか出ようとするのですが、どうしてもおしりが抜けません。

大笑いしながら、弟がこてつ君の足をひっぱり何とか身体を抜くことができました。

これが校長先生の初笑いです。皆さんはどうでしたか？

皆さんの素敵な笑いを校長室の前のボードに書きにきてくださいね。以上で3学期の始業式の話が終わります。